

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第5週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は3,484人(定点あたり74.1)で、前週比81%と減少した。

前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと手足口病であった。

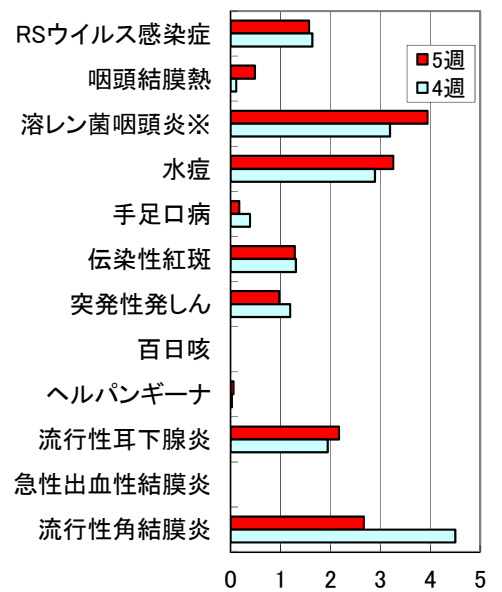
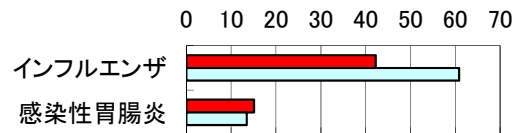
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は138人(3.9)で前週比123%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(2.5)の約1.6倍と多い。延岡(10.3)保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では3歳から7歳で全体の約7割を占めた。

流行性耳下腺炎の報告数は76人(2.2)で前週比112%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(1.1)の約2倍と多い。日南(5.7)、中央(5.0)保健所からの報告が多く、年齢別では2歳から7歳で全体の約8割を占めた。

インフルエンザの報告数は2,452人(42.3)で前週比69%と減少した。県全体で警報レベルを超え、延岡(66.1)、中央(57.0)、小林(46.2)保健所からの報告が多かった。年齢別では5歳以下が全体の40%、6-9歳が22%、10-14歳が17%、15-19歳が3%、20-50歳代が16%、60歳以上が2%を占めた。

マイコプラズマ肺炎1人が延岡保健所から報告された。6歳の女兒で原因菌は *Mycoplasma pneumoniae* であった。

《前週との比較》



定点あたり報告数
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□ 感染性胃腸炎の集団発生 (平成23年1月31日~平成23年2月6日まで)

感染性胃腸炎の集団発生はありませんでした。

□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年齢分布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
インフルエンザ	30	42.3	延岡(66.1)、中央(57.0)、 小林(46.2)、日向(42.3)、 都城(41.8)、宮崎市(38.6)、 高鍋(32.8)、日南(31.0)	5歳以下が全体の40%、6歳~9歳が 22%、10歳~14歳が17%、15歳~19歳 が3%、20歳代~50歳代が16%、60歳 以上が2%を占めた。
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	8	3.9	延岡(10.3)	3歳~7歳で全体の約7割を占めた。
感染性胃腸炎	20	15.1	延岡(27.0)、 日南・小林(各24.3)	1歳~3歳で全体の約4割を占めた。
伝染性紅斑	2	1.3	高鍋(5.0)、中央(2.0)	4歳~6歳で全体の約半数を占めた。

■ 病原体情報（衛生環境研究所 微生物部）

□ ウイルス（平成23年1月25日～平成23年2月7日までに検出）

同定ウイルス名	年齢	性	採取日	臨床症状	材料	検出日
コクサッキーウイルスA16型	2	女	11.25	手足口病、発疹	咽頭ぬぐい液	1.25
ノロウイルスGⅡ型	2	男	1.18	ウイルス性腸炎、胃腸炎関連けいれん、下痢、嘔気、嘔吐	便	1.25
インフルエンザAH3型	9	女	1.20	インフルエンザ、39.3℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	1.25
インフルエンザAH1pdm型	64	男	1.18	インフルエンザ、39.0℃、上気道炎、咽頭痛、咳	鼻腔ぬぐい液	1.25
インフルエンザAH1pdm型	34	女	1.18	インフルエンザ、38.2℃、関節痛、鼻汁、咳	鼻腔ぬぐい液	1.25
インフルエンザAH1pdm型	27	男	1.21	インフルエンザ、39.6℃、関節痛、咳	鼻腔ぬぐい液	1.25
ノロウイルスGⅡ型	1	女	1.21	胃腸炎、胃腸炎関連けいれん	便	1.25
インフルエンザAH3型	4	女	1.20	インフルエンザ、38.5℃、咳、頭痛	鼻汁	1.25
インフルエンザAH3型	3	女	1.21	インフルエンザ、39.0℃、咳、腹痛	鼻腔ぬぐい液	1.25
インフルエンザAH1pdm型	70	女	1.19	インフルエンザ、38.8℃、咳、食欲低下	咽頭ぬぐい液	1.25
インフルエンザAH1pdm型	51	男	1.18	インフルエンザ、37.9℃、咽頭痛、倦怠感、食欲低下、咳、痰	咽頭ぬぐい液	1.25
インフルエンザAH1pdm型	1	男	1.24	インフルエンザ、39.0℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	1.28
インフルエンザAH1pdm型	63	男	1.25	インフルエンザ、38.3℃、関節痛、咽頭痛、頭痛、倦怠感、食欲低下	鼻腔ぬぐい液	1.28
インフルエンザAH3型	10	女	1.25	インフルエンザ、38.9℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	1.28
インフルエンザAH1pdm型	10	男	1.26	インフルエンザ、39.0℃、咳、鼻汁、咽頭発赤	鼻汁	1.28
インフルエンザAH3型	7	女	1.26	インフルエンザ、39.1℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	1.28
インフルエンザAH1pdm型	72	男	1.26	インフルエンザ、37.8℃、筋肉痛、咳、痰、鼻水	咽頭ぬぐい液	1.28
インフルエンザAH1pdm型	6	男	1.26	インフルエンザ脳症疑い、39.6℃、意識障害	咽頭ぬぐい液	1.28
インフルエンザAH1pdm型	27	男	1.27	インフルエンザ、38.7℃、関節痛、咽頭炎、頭痛、倦怠感、咳	咽頭ぬぐい液	2.1
インフルエンザAH1pdm型	60	男	1.28	インフルエンザ、37.2℃、咳、咽頭痛	咽頭ぬぐい液	2.1
インフルエンザAH1pdm型	56	女	1.27	インフルエンザ、38.0℃、関節痛、咽頭痛	鼻腔ぬぐい液	2.1
インフルエンザAH1pdm型	31	女	1.24	インフルエンザ、39.1℃、咽頭痛、鼻汁、咳、倦怠感	鼻腔ぬぐい液	2.1
インフルエンザAH3型	11	男	1.27	インフルエンザ、39.2℃、上気道炎、咽頭炎	鼻汁	2.1
インフルエンザAH1pdm型	18	男	1.28	インフルエンザ、39.4℃、上気道炎、咽頭炎	鼻汁	2.1
インフルエンザAH3型	9	女	1.30	インフルエンザ、39℃、気管支炎、意識障害、異常行動	鼻汁	2.1
インフルエンザAH1pdm型	21	男	1.31	インフルエンザ、38.3℃、咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2.1
インフルエンザAH1pdm型	79	男	1.31	インフルエンザ、発熱、関節痛、倦怠感、食思低下、口腔内乾燥	咽頭ぬぐい液	2.1
インフルエンザAH1pdm型	63	女	1.31	インフルエンザ、38.0℃、関節痛、筋肉痛、頭痛、咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2.1
インフルエンザAH1pdm型	9	男	1.31	インフルエンザ、40.1℃	咽頭ぬぐい液	2.1
インフルエンザAH1pdm型	2	女	2.1	インフルエンザ脳炎疑い、41.0℃、熱性けいれん、意識障害	咽頭ぬぐい液	2.2

インフルエンザ、ノロウイルスはリアルタイムPCR法で検出

○手足口病の幼児からコクサッキーウイルスA16型が検出された。

○胃腸炎の幼児2例からノロウイルスGⅡ型が検出された。

○インフルエンザの患者からインフルエンザAH1pdm（新型）20例、インフルエンザAH3（A香港型）7例が検出された。

インフルエンザの流行が全国的に拡大しており、今シーズンは20歳以上の成人層が約6割を占めている。

□ 細菌（平成 23 年 1 月 25 日～平成 23 年 2 月 7 日までに検出）

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	分離材料	検出日
<i>Bordetella pertussis</i> （百日咳菌）	10代前半	女	2011.1.13	発熱(37℃)、咽頭炎、気管支炎	鼻汁	2011.1.28
<i>Bordetella pertussis</i> （百日咳菌）	5～9	女	2011.1.11	スタックート(+)、ウーブ(-)	鼻汁	2011.1.28
病原血清型大腸菌(O86a:HNM)	0～4	女	2011.1.11		便	2011.1.21
<i>Bordetella pertussis</i> （百日咳菌）	0～4	女	2011.1.27	咳	咽頭ぬぐい液	2011.2.7
<i>Salmonella</i> Enteritidis (O9:g,m:-)	5～9	女	2011.2.2	発熱(40℃)、下痢、腹痛	便	2011.2.4

○今回も百日咳菌が検出されている。百日咳菌の分離は専用綿棒での検体採取と専用培地での分離が必要で一般的に困難である。しかし、遺伝子検査は迅速性に優れているが、その後の解析には百日咳菌の分離が必須であるため菌の分離も積極的に行う必要がある。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 3 例が宮崎市（2 例）、延岡（1 例）保健所から報告された。
 《宮崎市保健所》・90 歳代の男性で肺結核。発熱がみられた。
 ・80 歳代の女性で肺結核。咳、痰がみられた。
 《延岡保健所》・50 歳代の女性で無症状病原体保有者。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例が都城保健所から報告された。
 ・2 歳の女児で腹痛、水様性下痢、血便がみられた。原因菌は O111（VT1、VT2 産生）。
 ・40 歳代の女性で無症状病原体保有者。原因菌は O111（VT1、VT2 産生）。
- 4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：○アメーバ赤痢 1 例が宮崎市保健所から報告された。70 歳代の男性で腸管アメーバ症。
 下痢、粘血便、腹痛、発熱がみられた。
 ○急性脳炎 1 例が宮崎市保健所から報告された。2 歳の女児で病原体はインフルエンザ AH1N1pdm。発熱、痙攣、意識障害がみられた。

■ 全国第 4 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 48.8 で、前週比 111%と増加した。今週増加した主な疾患はインフルエンザと流行性耳下腺炎で、減少した疾患は伝染性紅斑と水痘であった。

インフルエンザの報告数は 157,381 人（31.9）で、前週比 121%と増加した。宮崎県（60.9）、長崎県（56.6）、福岡県（47.2）からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 28%、6-9 歳が 24%、10-14 歳が 16%、15-19 歳が 5%、20-50 歳代が 25%、60 歳以上が 2%を占めた。

流行性耳下腺炎の報告数は 2,624 人（0.83）で、前週比 106%と増加した。例年同時期の約 1.3 倍である。長野県（3.8）、香川県（3.0）、新潟県（2.1）からの報告が多く、年齢別では 3 歳から 6 歳で全体の約 6 割を占めた。

□ 全数把握対象疾患

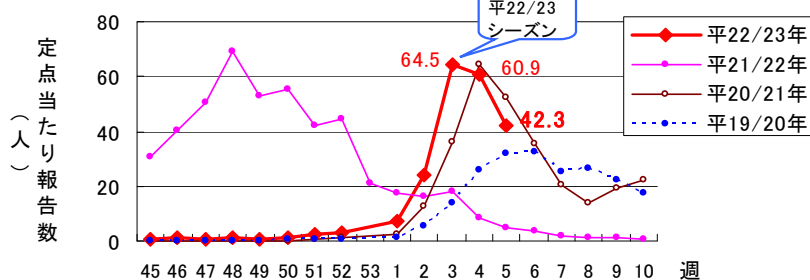
- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 297 例
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 9 例、パラチフス 1 例
- 4 類感染症：E 型肝炎 3 例、A 型肝炎 18 例、つつが虫病 1 例、デング熱 2 例、ボツリヌス症 1 例、マラリア 1 例、レジオネラ症 8 例、レプトスピラ症 1 例
- 5 類感染症：アメーバ赤痢 17 例、ウイルス性肝炎 3 例、急性脳炎 6 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3 例、後天性免疫不全症候群 12 例、梅毒 9 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、風疹 1 例、麻しん 10 例

■ インフルエンザ情報《県内第5週、全国第4週（再掲）》

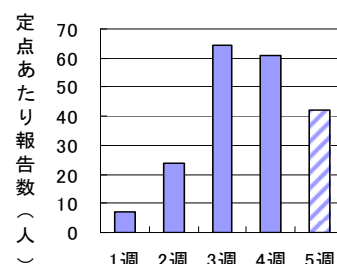
□ 県内第5週インフルエンザ発生動向

平成23年1月31日～2月6日までの1週間で2,452人（定点あたり42.3）の報告があり、前週に比べ69%と減少した（図1-1,2）。高千穂保健所を除くすべての保健所で警報レベルを超えている。延岡（66.1）・中央（57.0）・小林（46.2）保健所からの報告数が多く（図2）、年齢別では5歳以下が全体の40%、6-9歳が22%、10-14歳が17%、15-19歳が3%、20-50歳代が16%、60歳以上が2%を占めた（図3）。

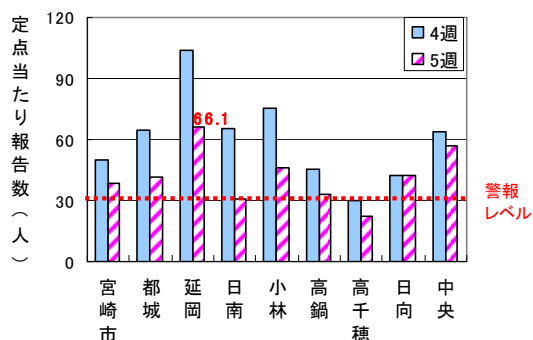
（図1-1）インフルエンザ推移



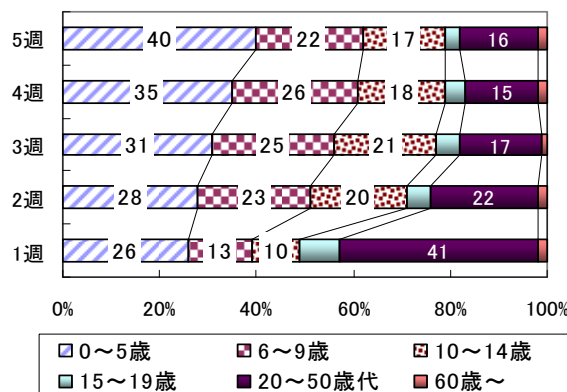
（図1-2）インフルエンザ総数推移



（図2）保健所別報告数



（図3）年齢群別の割合（%）



インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

○：警報レベル、△：注意報レベル、－警報・注意報レベルなし

保健所	今週（第5週）		1週前（第4週）		2週前（第3週）		3週前（第2週）		4週前（第1週）		5週前（第52週）	
	1/31～2/6		1/24～1/30		1/17～1/23		1/10～1/16		1/3～1/9		12/27～1/2	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎市	38.6	○	50.0	○	60.6	○	17.6	△	3.9	－	0.8	－
都城	41.8	○	64.5	○	78.1	○	36.9	○	16.9	△	9.7	－
延岡	66.1	○	104.1	○	105.9	○	45.3	○	10.4	△	5.6	－
日南	31.0	○	65.4	○	68.2	○	29.4	△	6.4	－	0.0	－
小林	46.2	○	75.2	○	71.4	○	23.8	△	7.8	－	1.2	－
高鍋	32.8	○	45.7	○	48.2	○	16.5	△	5.2	－	1.0	－
高千穂	22.5	△	30.0	○	15.5	△	8.5	－	1.0	－	0.0	－
日向	42.3	○	42.2	○	28.0	△	8.2	－	1.7	－	0.7	－
中央	57.0	○	64.0	○	64.0	○	11.0	△	4.5	－	0.0	－

□ 全国第4週インフルエンザ発生動向

平成23年1月24日～1月30日までの1週間で157,381人（31.9）の報告があり、前週比121%と増加した。宮崎県（60.9）、長崎県（56.6）、福岡県（47.2）からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の28%、6-9歳が24%、10-14歳が16%、15-19歳が5%、20-50歳代が25%、60歳以上が2%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2011年 第05週(01月31日～02月06日)

疾病名		第4週	第5週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3592	2452	617	376	463	155	231	197	45	254	114
	定点あたり	60.88	42.28	38.56	41.78	66.14	31.00	46.20	32.83	22.50	42.33	57.00
RSウイルス 感染症	報告数	59	55	9	6	9	2		4		25	
	定点あたり	1.64	1.57	0.90	1.20	2.25	0.67	0.00	1.00	0.00	6.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	4	17		5	3	7		1		1	
	定点あたり	0.11	0.49	0.00	1.00	0.75	2.33	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	115	138	20	6	41	14	2	18	2	29	6
	定点あたり	3.19	3.94	2.00	1.20	10.25	4.67	0.67	4.50	2.00	7.25	6.00
感染性胃腸炎	報告数	485	528	113	67	108	73	73	45	13	33	3
	定点あたり	13.47	15.09	11.30	13.40	27.00	24.33	24.33	11.25	13.00	8.25	3.00
水痘	報告数	104	114	45	23	4	1	3	21		16	1
	定点あたり	2.89	3.26	4.50	4.60	1.00	0.33	1.00	5.25	0.00	4.00	1.00
手足口病	報告数	14	6	4							2	
	定点あたり	0.39	0.17	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	47	45	11	3	3	2	1	20	1	2	2
	定点あたり	1.31	1.29	1.10	0.60	0.75	0.67	0.33	5.00	1.00	0.50	2.00
突発性発しん	報告数	43	34	14	4	8	3		3		2	
	定点あたり	1.19	0.97	1.40	0.80	2.00	1.00	0.00	0.75	0.00	0.50	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	2		1		1					
	定点あたり	0.03	0.06	0.00	0.20	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	70	76	26	10	12	17		3	2	1	5
	定点あたり	1.94	2.17	2.60	2.00	3.00	5.67	0.00	0.75	2.00	0.25	5.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	27	16	16								
	定点あたり	4.50	2.67	5.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1			1						
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～5週)

2類感染症	結核	20例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3例(2)				
4類感染症	つつが虫病	1例				
5類感染症	アメーバ赤痢	2例(1)	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	2例(1)
	梅毒	1例				

●動物感染症累積報告数(2011年1週～5週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1 (鳥類))	7例(2)
-------	---------------------	-------

()内は今週届出分、再掲